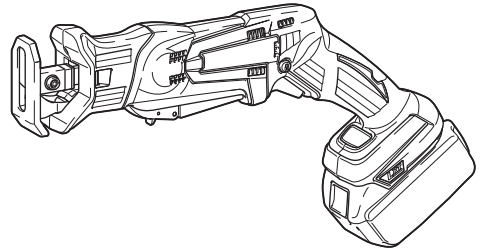
ヒューマンハードウェアのマキタ

人の暮らしとすまいのために……

取扱説明書

充電式レシプロソー

モデル　JR144D/JR184D

無段変速・ブレーキ付

このたびは**充電式レシプロソー**をお買い上げ賜わり厚くお礼申し上げます。
ご使用に先立ち、この取扱説明書をよくお読みいただき本機の性能を十分ご理解の上で、適切な取り扱いと保守をしていただいて、いつまでも安全に能率よくお使いくださるようお願いいたします。
なお、この取扱説明書はお手元に大切に保管してください。

目次

主要機能

主要機能 ＼ モデル	JR144D	JR184D
電動機	直流マグネットモータ	
バッテリ	リチウムイオンバッテリ	
	バッテリ BL1430 （容量 3.0 Ah）	バッテリ BL1830 （容量 3.0 Ah）
電圧	直流 14.4 V	直流 18 V
ストローク長	13 mm	
ストローク数	0 ～ 3,000 min^{-1}（回 / 分）	
切断能力	パイプ：Φ 50 mm（長さ 152 mm 鉄工用ブレード使用時） 木材：厚さ 50 mm（長さ 152 mm 木工用ブレード使用時）	
本機寸法 （長さ×幅×高さ）	397 mm × 81 mm × 210 mm	398 mm × 81 mm × 220 mm
質量（バッテリ含む）	1.6 kg	1.7 kg

充電器	DC18RC
入力電圧	単相交流 100 V
入力周波数	50-60 Hz
入力容量	410 VA
出力電圧	直流 7.2 V-18 V
出力電流	直流 9 A

・ 改良のため、主要機能および形状などは変更する場合がありますので、ご了承ください。

注意文の ⚠警告 ・ ⚠注意 ・ 注 の意味について

ご使用上の注意事項は ⚠警告 と ⚠注意 ・ 注 に区分していますが、それぞれ次の意味を表します。

⚠警告：誤った取り扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

⚠注意：誤った取り扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。
なお ⚠注意 に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

注：製品および付属品の取り扱いなどに関する重要なご注意。

充電工具共通の安全上のご注意

JPA002-41

⚠警告

・ご使用前に、「取扱説明書」と「安全上のご注意」すべてをよくお読みの上、正しく使用してください。
・感電、火災、重傷などの事故を未然に防ぐために、この「安全上のご注意」を必ず守ってください。
・「充電工具」は、充電式（バッテリパック式）電動工具を示します。

a）作業環境

1. **作業場は、整理整頓してください。また、十分に明るくし、いつもきれいに保ってください。**
・ちらかった暗い場所や作業台は、事故の原因となります。
2. **可燃性の液体・ガス・粉じんのある所で使用しないでください。**
・充電工具から発生する火花が発火や爆発の原因になります。
3. **使用中は子供や第三者を作業場に近づけないでください。**
・注意が散漫になり、操作に集中できなくなる可能性があります。
・作業者以外、充電工具や充電器のコードに触れさせないでください。

b）電気に関する安全事項

1. **電源コンセントは充電器の電源プラグに合ったものを使用してください。また、電源プラグの改造をしないでください。接地付きプラグは確実にアースをしてください。**
・改造していない電源プラグおよびそれに対応するコンセントを使用すれば、感電のリスクが低減されます。
2. **金属製のパイプや暖房器具、電子レンジ、冷蔵庫の外枠などアースされているものに身体を接触させないようにしてください。**
・感電する恐れがあります。
3. **充電工具は、雨ざらしにしたり、湿った、またはぬれた場所で使用したりしないでください。**
・充電工具内部に水が入り、本機による感電やバッテリが短絡する恐れがあります。
4. **充電器の電源コードを乱暴に扱わないでください。**
・電源コードを持って充電器を運んだり、引っ張ったりしないでください。また、電源プラグを抜くために電源コードを利用しないでください。
・電源コードを熱、油、角のある所、動くものに近づけないでください。電源コードが損傷したり、絡まって感電する恐れがあります。
5. **屋外の使用に適した延長コードを使用してください。**
・屋外で使用する場合、キャブタイヤコード、またはキャブタイヤケーブルの延長コードを使用してください。

⚠警告

c）作業者に関する安全事項

1. 「取扱説明書」と「安全上のご注意」をお読みになって、充電工具とその操作を理解した方以外は使用させないでください。
- 理解せずに使用することは危険です。

2. 油断しないで十分注意して作業を行ってください。
- 充電工具を使用する場合は、取扱方法、作業の仕方、周りの状況など十分注意して慎重に作業してください。
- 疲れていたり、アルコールまたは医薬品を飲んでいる場合は、充電工具を使用しないでください。
- 一瞬の不注意が深刻な傷害を招きます。

3. 安全保護具を使用してください。
- 作業時は、常に保護メガネを使用してください。必要に応じて、防じんマスク、すべり防止安全靴・ヘルメット、耳栓（イヤマフ）などを着用してください。

4. 不意な始動は避けてください。
- スイッチに指をかけて運ばないでください。

5. 充電工具の電源を入れる前に、調整キーやレンチなどは、必ず取りはずしてください。
- 電源を入れたときに、取り付けたキーやレンチなどが回転して傷害の恐れがあります。

6. 無理な姿勢で作業をしないでください。
- 常に足元をしっかりさせ、バランスを保つようにしてください。

7. きちんとした服装で作業してください。
- だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、回転部に巻き込まれる恐れがあるので着用しないでください。
- 髪、衣服、手袋は回転部分に近づけないでください。
- 屋外での作業の場合には、すべり止めの付いた履物の使用をおすすめします。
- 長い髪は、帽子やヘアカバーなどで覆ってください。

8. 集じん装置が接続できるものは接続して使用してください。
- 充電工具に集じん機などが接続できる場合は、これらの装置を確実に接続することで粉じんの人体への影響を軽減できます。

d）電動工具の使用と手入れ

1. 無理して使用せず作業に合った充電工具を使用してください。
- 安全に能率よく作業するために、充電工具の能力に合った負荷で作業してください。
- 小型の充電工具やアタッチメントは、大型の充電工具で行う作業には使用しないでください。

2. スイッチに異常がないか点検してください。
- スイッチで始動および停止操作のできない充電工具は危険です。使用せず修理をお申し付けください。

⚠ 警告

3. 充電工具の誤始動を防ぐために、次の作業前はスイッチを切り、バッテリを本機から抜いてください。
- 本機の調整
- 刃物、砥石、ビットなどの付属品の交換
- 保管、または修理
- その他危険が予想される作業
4. 使用しない充電工具は、きちんと保管してください。
- 子供の手の届かない安全な所、乾燥した場所で鍵のかかる所に保管してください。
5. 充電工具の保守点検をしてください。
- 可動部分の位置調整および締め付け状態、部品の破損、取り付け状態、その他運転に影響をおよぼすすべての箇所に異常がないか確認してください。
- 保守点検が不十分であることが事故の原因になります。
- 握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリスなどが付かないようにしてください。
- 注油や付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
- コードは定期的に点検し、損傷している場合は、お買い上げの販売店、または当社営業所に修理をお申し付けください。
- 延長コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合には交換してください。
- 安全に能率よく作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。
6. 先端工具は、鋭利できれいな状態を保ってください。
- 先端工具を適切に手入れすることで、円滑な作業と容易な操作ができます。
7. 充電工具、付属品、アタッチメント、先端工具類は、作業条件や実施する作業に合わせてご使用ください。
- 指定された用途以外に使用すると、事故の原因になります。
8. 極端な高温や低温の環境下では十分な性能を得られません。

e）充電工具の使用と手入れ

1. バッテリを差し込む前に、スイッチが切れていることを確認してください。
- スイッチがオンの位置にあるときにバッテリを差し込むと事故につながります。
2. バッテリは専用充電器以外では充電しないでください。
- ほかのバッテリ用の充電器を流用すると、火災、発熱、破裂、液漏れの恐れがあります。
3. マキタが指定した専用バッテリ以外使わないでください。また、改造したバッテリ（分解してセルなどの内蔵部品を交換したバッテリを含む）を使用しないでください。
- 工具本体の性能や安全性なども損なう恐れがあり、火災やけが、故障、破裂などの原因になります。

⚠ 警告

4. バッテリの端子部を金属などで接触させないでください。
・ バッテリを金属と一緒に工具箱や釘袋などに保管しないでください。発熱、発火、破裂の恐れがあります。
・ 本機または充電器からはずした後は、バッテリにバッテリカバーを必ず取り付けてください。

5. 高温などの過酷な条件下ではバッテリから液漏れすることがあります。漏れ出た液体に不用意に触れないでください。
・ 万が一、バッテリの液が目に入ったら、直ちにきれいな水で十分洗い医師の治療を受けてください。
・ バッテリの液は炎症ややけどの原因になることがあります。

f）整備

1. 充電工具は、専門家による純正部品だけを用いた修理により安全性を維持することができます。
・ 本機、充電器、バッテリを分解、修理、改造はしないでください。発火したり、異常動作して、けがをする恐れがあります。
・ 本機が熱くなったり、異常に気づいたときは点検・修理に出してください。
・ 本機は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
・ 修理は、必ずお買い上げの販売店、または当社営業所にお申し付けください。
・ 修理の知識や技術のない方が修理すると、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの恐れがあります。

その他の安全事項

1. 損傷した部品がないか点検してください。
・ 使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。異常がある場合は、使用する前に修理を行ってください。
・ 破損した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書に従ってください。取扱説明書に記載されていない場合は、お買い上げの販売店、または当社営業所に修理をお申し付けください。スイッチが故障した場合は、お買い上げの販売店、または当社営業所に修理をお申し付けください。
・ 異常・故障時には、直ちに使用を中止してください。そのまま、使用すると発煙・発火、感電、けがに至る恐れがあります。
  ＜異常・故障例＞
  ・ 電源コードや電源プラグが異常に熱い。
  ・ 電源コードに深いキズや変形がある。
  ・ コードを動かすと、通電したりしなかったりする。
  ・ 焦げくさい臭いがする。
  ・ ビリビリと電気を感じる。
  スイッチを入れても動かないなど不具合を感じた場合は、すぐにバッテリを抜いてお買い上げの販売店へ点検、修理をお申し付けください。

⚠ 警告

2. 正しい付属品やアタッチメントを使用してください。
- この取扱説明書および当社カタログに記載されている付属品やアタッチメント以外のものを使用すると、事故やけがの原因となる恐れがあるので使用しないでください。

3. 材料を加工する工具では、材料をしっかりと固定してください。
- 材料を固定するために、クランプや万力などを利用してください。手で保持するより安全で、両手で充電工具を使用できます。（材料を動かして加工する製品を除く。）

4. 使用時間が極端に短くなったバッテリは使用しないでください。
5. 落としたり、何らかの損傷を受けたバッテリは使用しないでください。
6. ご使用済みのバッテリは一般家庭ゴミとして棄てないでください。
- 棄てられたバッテリがゴミ収集車内などで破壊されて短絡し、発火・発煙の原因になる恐れがあります。

7. ラッカー、ペイント、ベンジン、シンナー、ガソリン、ガス、接着剤などのある場所では充電しないでください。
- 爆発や火災の恐れがあります。

8. 火災の恐れがあります。次のようなことをしないでください。
- ダンボールなどの紙類、座布団などの布類、畳、カーペット、ビニールなどの上では充電しないでください。
- 風窓のある充電器は、充電中に風窓をふさがないでください。また風窓に金属類、燃えやすいものを差し込まないでください。
- 綿ぼこりなど、ほこりの多い場所で充電しないでください。

9. 充電器のバッテリ装着部には充電用端子があります。金属片・水などの異物を近づけないでください。
- そのまま充電を続けると発煙、発火、破裂の恐れがあります。

10. 充電器は充電以外の用途には使用しないでください。
11. 充電中、発熱などの異常に気が付いたときは、直ちに電源プラグを抜いて充電を中止してください。そのまま充電を続けると発煙、発火、破裂の恐れがあります。
12. バッテリは、火への投入、加熱をしないでください。
- 発熱、発火、破裂の恐れがあります。

13. バッテリに釘を刺したり、衝撃を与えたり、分解・改造をしないでください。
- 発火、破裂の恐れがあります。

14. バッテリを火のそばや炎天下など高温の場所で充電・使用・保管しないでください。
- バッテリを周囲温度が 50℃以上に上がる可能性のある場所（金属の箱や夏の車内など）に保管しないでください。バッテリ劣化の原因になり、発煙、発火の恐れがあります。

⚠警告

15.正しく充電してください。
- 充電器は定格表示してある電源で使用してください。昇圧器などのトランス類を使用したり直流電源やエンジン発電機では使用しないでください。（当社インバータ制御付エンジン発電機は除く。）異常に発熱し、火災の恐れがあります。
- 周囲温度が 10℃未満、または周囲温度が 40℃以上ではバッテリを充電しないでください。破裂や火災の恐れがあります。
- バッテリは、換気のよい場所で充電してください。バッテリや充電器を充電中、布などで覆わないでください。破裂や火災の恐れがあります。
- 使用しない場合は、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。破裂や火災の恐れがあります。
- 電源コードが踏まれたり、引っかけられたり、無理な力を受けて損傷することがないような場所で充電してください。発煙、発火、感電の恐れがあります。

16.ぬれた手で電源プラグに触れないでください。
- 感電の恐れがあります。

この取扱説明書は、大切に保管してください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見ることができる所に必ず保管してください。
- ほかの人に貸し出す場合は、一緒に取扱説明書もお渡しください。

●騒音防止規制について

騒音に関しては、法令や各都道府県などの条例で定める規制がありますので、ご近所などの周囲に迷惑をかけないようにご使用ください。

充電式レシプロソー安全上のご注意

先に充電工具としての共通の注意事項を述べましたが、充電式レシプロソーとして、さらに次に述べる注意事項を守ってください。

JPB177-4

⚠ 警告

1. 作業する箇所に、電線管・水道管やガス管などの埋設物がないことを、作業前に十分確かめてください。
   - 埋設物があると、ノコ刃（レシプロソーブレード）が触れ、感電や漏電・ガス漏れの恐れがあり、事故の原因になります。
2. 使用中は、本機を確実に保持してください。
   - 確実に保持していないと、本機が振られ、けがの原因になります。
3. 使用中は、ノコ刃（レシプロソーブレード）や切粉の排出部に手や顔などを近づけないでください。
   - けがの原因になります。
4. 使用中、本機の調子が悪かったり、異常音がしたときは、直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買い上げの販売店、または当社営業所に点検・修理をお申し付けください。
   - そのまま使用していると、けがの原因になります。
5. 誤って落としたり、ぶつけたときは、ノコ刃（レシプロソーブレード）や本機などに破損や亀裂、変形がないことをよく点検してください。
   - 破損や亀裂、変形があると、けがの原因になります。

⚠ 注意

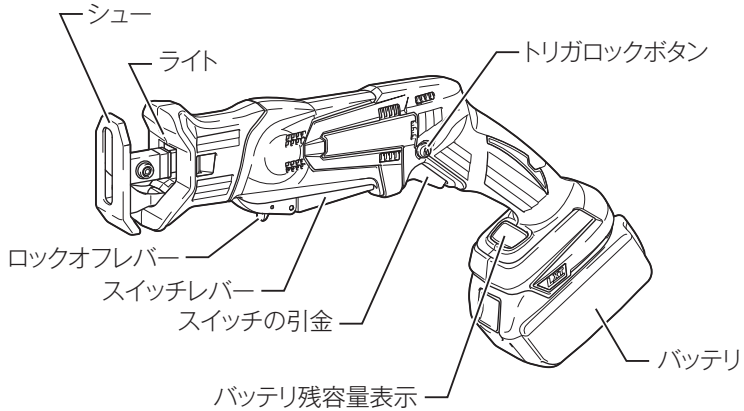
1. ノコ刃（レシプロソーブレード）や付属品は、取扱説明書に従って確実に取り付けてください。
・ 確実でないと、はずれたりし、けがの原因になります。
2. ノコ刃（レシプロソーブレード）および取り付け面の切粉などを拭き取ってください。
・ ブレードがはずれたり、折れたりして、けがの原因になります。
3. 作業直後のノコ刃（レシプロソーブレード）は大変熱くなっていますので、触れないでください。
・ やけどの原因になります。
4. 高所作業のときは、下に人がいないことをよく確かめてください。
・ 材料や本機などを落としたときなど、事故の原因になります。
5. 運転させたまま、台や床などに放置しないでください。
・ けがの原因になります。

注

・ 電源が離れていて、延長コードが必要なときは、充電器を最高の能率で支障なくご使用していただくために十分な太さのコードをできるだけ短くお使いください。

使用できるコードの太さ（公称断面積）と長さの目安

コードの太さ（導体公称断面積）	コードの長さの目安
2.0mm^2	30m

各部の名称および標準付属品

製品の組み合わせおよび標準付属品

標準付属品 ＼ モデル	JR144DZ JR184DZ	JR144DRF	JR184DRF
バッテリ	×	○ バッテリ BL1430	○ バッテリ BL1830
充電器（充電時間）	×	○ DC18RC （約 22 分）	○ DC18RC （約 22 分）
レシプロソーブレード BIM41（木工用）	○	○	○
六角棒レンチ 3	○	○	○
プラスチックケース	×	○	○
バッテリカバー	×	○	○

別販売品のご紹介

・ 別販売品の詳細につきましてはカタログを参照していただくか、お買い上げの販売店もしくは、当社営業所へお問い合わせください。

レシプロソーブレード

種類	No.	主要切断材料	切断能力（mm）							全長(mm)	1インチ当たりの山数	入数	部品番号
			軟鋼板	非鉄金属	プラスチック	パイプ	ALC	木材	その他				
レシプロソーブレード	21	鉄工	3以下	—	10以下	Φ50以下	—	—	—	125	24	5	A-20703
	22		6以下	—	10以下	Φ90以下	—	—	—	165	18		A-20719
	24		3以下	—	10以下	Φ90以下	—	—	—	165	24		A-20747
	23B	木材新建材	—	—	—	—	—	90以下	高速切断に	150	6		A-20731
	23		—	—	—	—	—	80以下	—	165	9		A-20725
	27	木材塩ビ竹	—	—	—	Φ100（塩ビ）	—	100	100（竹）	190	15	1	A-53827
	28	木材庭木	—	—	—	—	—	Φ100	—	190	16		A-55930
	BIM43	木材塩ビ竹	—	—	—	Φ140（塩ビ）	—	Φ140	Φ140（竹）	225	15		A-55619
	BIM44		—	—	—	Φ140（塩ビ）	—	Φ140	Φ140（竹）	225	8.5		A-55625
バイメタル	BIM33	鉄工複合材2×4	1~8	1~8	5~100	Φ75以下	—	—	—	150	7~18	5	A-42911
	BIM34		3~10	3~10	5~100	Φ75以下	—	5~100	—	150	6~11		A-42927
	BIM42	鉄工用（鋼管・鋼材）	1.5~4	1.5~4	—	Φ5~100（鉄）	—	—	—	152	18		A-47519
	BIM41	プラスチック（木用）	—	—	8~50	Φ5~100（塩ビ）	—	10~100（釘可）	—	152	6		A-47503
	HM	ステンレス用	—	—	—	Φ2~75（ステンレス）	—	—	ステンレス板2~4	152	18	2	A-47525
	BIM22	鉄工・プラスチック	6以下	6以下	15以下	Φ90以下（ステンレス可）	—	—	—	170	18	5	A-31669
	BIM29		6以下	6以下	15以下	Φ160以下（ステンレス可）	—	○（釘可）	—	250	14		A-36485
	BIM30		6以下	6以下	15以下	Φ160以下（ステンレス可）	—	—	—	250	18		A-36491
	BIM27	ALC・鉄工	2.6~6	2.6~6	15以下	Φ180以下	10~250	○（釘可）	—	300	10		A-31675
	BIM28	鉄工・プラスチック	6以下	6以下	15以下	Φ180以下（ステンレス可）	—	○（釘可）	—	300	14		A-36479
	BIM31	鉄工	1.5~6	1.5~6	10~50	Φ120以下	—	—	他アングル等	200	8		A-40593
	BIM32		2.5~6	2.5~6	10~50	Φ120以下	—	—	他アングル等	200	5		A-40602
	BIM40	複合材2×4	—	—	5~60	Φ150以下（塩ビ）	10~250	10~250（釘可）	—	305	5&8		A-44987

別販売品のご紹介

・ ジグソーブレード

形状	名称	入数	用途	部品番号
B	B-8	5	木材の高速切断	A-30558
	B-10		木材・合板の高速切断、仕上げ	A-15768
	B-11		木材・プラスチックの仕上げ	A-15774
	B-12		木材・プラスチックの高速切断、仕上げ	A-15780
	B-13		木材の荒切り	A-15796
	B-14		木材（薄物）用	A-15805
	B-15		木材（薄物）用	A-15811
	B-16		木材の高速切断、荒切り	A-15827
	B-17		木材の高速切断、挽き回し切り	A-15833
	B-18		木材の挽き回し切り	A-15849
	B-19		木材・合板・プラスチックの仕上げ	A-15855
	B-19S		木材・合板・プラスチックの仕上げ	A-40272
	B-16L		木材（厚物）用	A-15039
	No.58		木材の高速切断	A-15746
	No.59		木材の高速切断、仕上げ	A-15752
	B-HM	3	窯業系サイディング用	A-48701
	B-21	5	アルミ・プラスチック用	A-15861
	B-22		金属・金属サイディング用	A-15877
	B-23		新建材・樹脂・金属用	A-15883
	B-24		金属用（薄板用）	A-15899
	B-27		金属用、挽き回し切り	A-15920
	No.51		金属用	A-15730
	B-22S		金属用	A-40288
	B-24S		金属用（薄板用）	A-40294
	B-30		金属用	A-40886
	B-25		集成材・樹脂・金属用	A-15908
	B-26		集成材・樹脂・金属用、挽き回し切り	A-15914
	No.60		ステンレス専用（バイメタル）	A-03517
	No.61		ステンレス専用（バイメタル）	A-03523
	No.62		ステンレス専用（バイメタル）	A-03595
	B-K	2	発砲スチロール・段ボール・ゴム・皮革	A-40303

別販売品のご紹介

JR144D 用

・ バッテリBL1430(容量3.0 Ah)
部品番号 A-42634

・ バッテリBL1440(容量4.0 Ah)
部品番号 A-56574

JR184D 用

・ バッテリBL1830(容量3.0 Ah)
部品番号 A-47896

・ バッテリBL1840(容量4.0 Ah)
部品番号 A-56596

・ サンディングアダプター
部品番号 A-40967

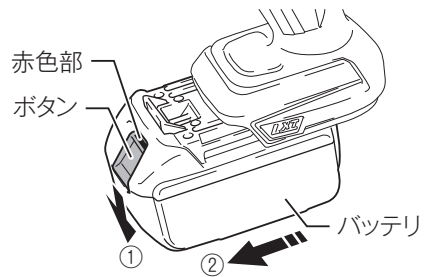
・ マジックペーパー60(10枚入)
部品番号 A-40973

・ マジックペーパー120(10枚入)
部品番号 A-40989

・ 丸ヤスリ
部品番号 A-40945

・ 平ヤスリ
部品番号 A-40951

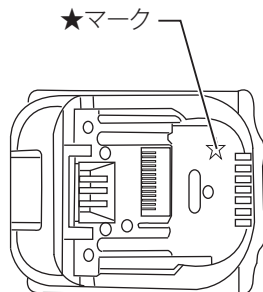
バッテリの取り付け・取りはずし方

- バッテリを本機から取りはずすときは、1. バッテリ正面のボタンを下げながら2. スライドさせると取りはずせます。
- 取り付けるときは逆の要領で、本機の溝に合わせ、奥まで挿入してください。この際、ボタン上部の赤色部が見えている場合は完全にロックされていません。赤色部が見えなくなるまで、奥まで確実に挿入してください。

⚠ 警告
バッテリは確実に本機に差し込んでください。ボタン上部の赤色部が見えている場合は完全にロックされていません。赤色部が完全に見えなくなるまでしっかり差し込んでください。 ・ 差し込みが不十分の場合、はずれて事故の原因になります。

バッテリ保護機能

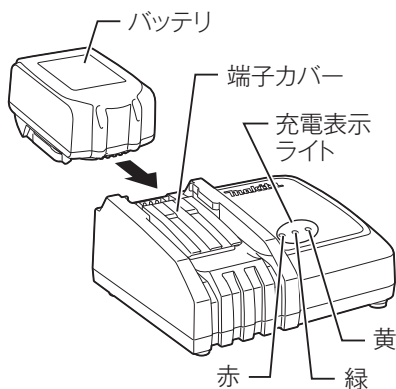
（★マーク付きバッテリを使用する場合）
バッテリ寿命を長くする目的で出力を自動停止する保護機能が付いています。本機を使用中、下記状態になりますとモータが自動停止しますが、これはバッテリの保護機能によるものであり故障ではありません。

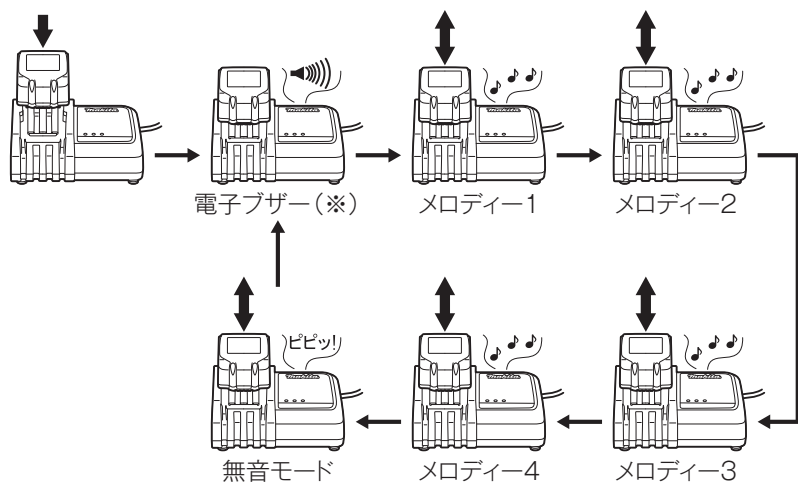
・ 本機が過負荷状態になるとモータが自動停止します。
　このときはいったんスイッチを離し、本機よりバッテリを取りはずした後、過負荷の原因を取り除いてください。原因を取り除けば再びご使用になれます。
・ バッテリの温度が高温になるとモータが自動停止します。スイッチを操作してもモータは停止したままです。このときはバッテリの使用を中断し、本機よりバッテリを取りはずし、バッテリを冷ますか、または充電してください。
・ バッテリの容量が少なくなるとモータが自動停止します。スイッチを操作してもモータは停止したままです。
　このときは本機よりバッテリを取りはずし､バッテリを充電してください。

バッテリについて

・ お買い上げ時は、バッテリは十分に充電されていないため、バッテリ保護機能が働いている場合があります。（スイッチを操作すると本機は動く恐れがありますので注意してください。）ご使用前に急速充電器で正しく充電してからご使用ください。
・ 使用しないときはバッテリカバーをかぶせてください。バッテリを水やほこりから保護するのに役立ちます。

使い方

バッテリの充電方法

1. 急速充電器の電源プラグを 100 V の電源コンセントに差し込んでください。充電表示ライトは「緑」の点滅を繰り返します。
2. バッテリを急速充電器の挿入ガイドにそって、一番奥まで入れてください。充電器の端子カバーはバッテリ挿入に伴い開閉します。
3. バッテリを挿入しますと充電表示ライトが「赤」に点灯し、現在設定されている充電完了メロディーが短時間流れ、充電を開始します。
   充電が完了すると「緑」の点灯に変わり、充電完了メロディーや電子ブザーが鳴ります。そのままバッテリを挿入しておけば、バッテリを冷却します。
   充電時間は周囲温度（10 ℃～ 40 ℃）やバッテリの状態（新品・長期保存バッテリや寿命に近いバッテリなど）により変動します。
4. 充電完了後すぐに使用しない場合は、バッテリの冷却を行いますので、そのまま差し込んでおくことをおすすめします。冷却時間は約 1 時間です。
5. バッテリを抜き取り、電源コンセントから急速充電器の電源プラグを抜いてください。

充電完了メロディーの切り替え方法

1. バッテリを充電器に差し込むと、現在設定（※）されている充電完了メロディーの確認音が短時間流れます。
2. このとき、約 5 秒以内にバッテリを差し直すと充電完了メロディーの確認音が変わります。
3. 続けて約 5 秒以内にバッテリを差し直すたびに充電完了メロディーの確認音が順に変わります。
4. 設定したい充電完了メロディーの確認音が流れましたら、バッテリを挿入したままにすることで充電を開始します。
   「ピピッ！」と鳴るモードを選んだときは充電完了時に音がしません（無音モード）。
5. 充電が完了すると充電表示ライトが「緑」の点灯に変わり、バッテリ挿入時に設定した充電完了メロディーや電子ブザーが鳴ります。無音モードを選択した場合には完了時に音はしません。
6. 設定した充電完了メロディーは急速充電器の電源プラグを抜いても記憶されています。

（※）出荷時は電子ブザーに設定されています。

使い方

充電表示ライトについて

充電表示ライトの内容は以下のようになっています。
（通常充電のライト表示および表示内容）

ライト表示（点滅／点灯）	表示内容
○ 緑（点滅） ○	充電前「緑１個」点滅 電源に差し込んだ状態です。
赤（点滅） ○ ○	冷却中「赤１個」点滅 バッテリが高温です。冷却後、自動的に充電開始します。
赤（点灯） ○ ○	充電中「赤１個」点灯 バッテリ容量約0～80％を示します。
赤（点灯） 緑（点灯） ○	充電中「赤１個・緑１個」点灯 バッテリ容量約80～100％を示します。
○ 緑（点灯） ○	充電完了「緑１個」点灯　電子ブザーまたはメロディー

（オートメンテナンス時のライト表示および表示内容）

ライト表示	表示内容
○ ○ 黄（点灯）	オートメンテナンス「黄」点灯 バッテリ寿命低下防止のため充電時間が長くなります。

（異常時のライト表示および表示内容）

ライト表示	表示内容
赤（点滅） 緑（点滅） ○	充電不可「赤・緑１個」交互点滅 電子ブザー バッテリ寿命またはゴミづまりで充電できません。
○ ○ 黄（点滅）	冷却システム異常「黄」点滅 冷却ファン故障または冷却不足です。

注

- DC18RC はマキタバッテリ専用の急速充電器です。ほかの目的に使用しないでください。
- 使用直後のバッテリや直射日光の当たる所に長時間放置したバッテリを充電されますと充電表示ライトが「赤」の点滅を繰り返す場合があります。このようなときは、充電器内蔵の冷却ファンによりバッテリを冷却してから充電を開始します。
- 充電開始後、充電表示ライトが「赤・緑」の交互点滅を繰り返し、電子ブザーが「ピッピッピッ」と約 20 秒間鳴った場合は、バッテリの寿命またはゴミづまりで充電できません。
- バッテリを連続で充電される場合は、充電時間が長くなることがあります。
- オートメンテナンス機能により、充電時間が周囲温度（10 ℃～ 40 ℃）やバッテリの状態に応じて変動します。
- 次のような状態のときは、充電器またはバッテリに故障があると考えられますので、充電器とバッテリの両方を、お買い上げの販売店または当社営業所へお持ちください。
  - ×充電器の電源プラグを 100 V の電源コンセントに差し込んでも、表示ライトが「緑」に点滅しない。
  - ×バッテリを挿入しても、表示ライトが「赤」に点灯または点滅しない。
  - ×充電開始後、表示ライトが「赤」に点灯した後、1 時間以上たっても充電が完了しない。（表示ライトが「緑」に変わらない。）

冷却システムについて

- バッテリの性能を十分に発揮させるため、充電器内蔵の冷却ファンによりバッテリを効率良く冷却するシステムです。送風の音がしますが故障ではありません。
- 冷却ファンが故障したり、充電器やバッテリのゴミづまりによって冷却不足となった場合、「黄」のライトが点滅し冷却システム異常をお知らせします。冷却システム異常の場合も充電を行いますが、充電時間が長くなることがあります。このようなときは、充電器、バッテリの風穴がふさがれていないか、または送風の音がしないか、ご確認ください。
- 充電中、送風の音がしない場合がありますが、「黄」のライトが点滅していなければ故障ではありません。冷却ファンを停止して充電することがあります。
- 充電器、バッテリの風穴をふさがないでください。
- 頻繁に「黄」のライトが点滅するようなときは、点検・修理をお申し付けください。

使い方

オートメンテナンス機能について

- オートメンテナンス機能は、バッテリの使用状態に応じて自動的にバッテリを長持ちさせるように最適な充電を行うことを特徴としています。
- 下記1～4の状態となった場合、特にバッテリ寿命が低下しやすい状況にあるため、充電中に「黄」のライトが点灯して充電時間が長くなることがあります。
  1 高温充電の繰り返し
  2 低温充電の繰り返し
  3 満充電バッテリの再充電の繰り返し
  4 過放電の繰り返し
  （過放電とは工具の力が弱くなってもさらに使用する状態です。）

バッテリを長持ちさせるには

- 工具の力が弱くなってきたと感じたら使うのをやめ、充電してください。
- 満充電したバッテリを再度充電しないでください。
- 充電は周囲温度10 ℃～ 40 ℃の範囲で行ってください。
- 使用直後などの熱くなったバッテリは、充電器に差し込んで冷却し充電することをおすすめします。
- 長期間（6ヶ月以上）ご使用にならない場合、リチウムイオンバッテリは充電してから保管することをおすすめします。

バッテリの回収について

使用済みバッテリはリサイクルのため回収しております。お買い上げの販売店または当社営業所へご持参ください。

リチウムイオンバッテリは
リサイクルへ

充電器の点検・修理・保管について

- いつも安全に能率よくお使いいただくために定期点検をおすすめします。修理・点検はお買い上げの販売店または当社営業所にお申し付けください。
- 充電器の保管場所として次のような場所は避けてください。
  × お子様の手が届いたり、簡単に持ち出せる所
  × 温度や湿度の急変する所
  × 湿気の多い所
  × 直射日光の当たる所
  × 揮発性物質の置いてある所

ブレードの取り付け・取りはずし方

⚠ 警告

ブレードの取り付け・取りはずしの際は必ずスイッチを切り、バッテリを抜いてください。
・ バッテリを差したまま行うと事故の原因になります。

⚠ 注意

ブレードおよび取り付け面の切粉などを拭き取ってください。
・ ブレードの取り付けが不完全となり、はずれたり、折れたりしてけがの原因になります。

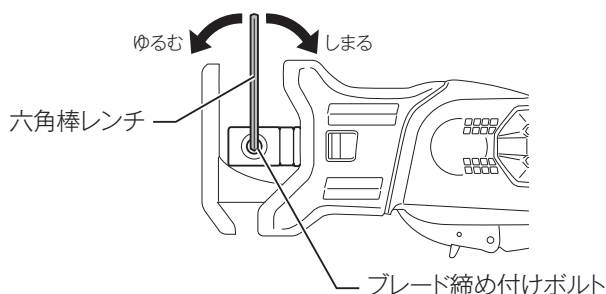
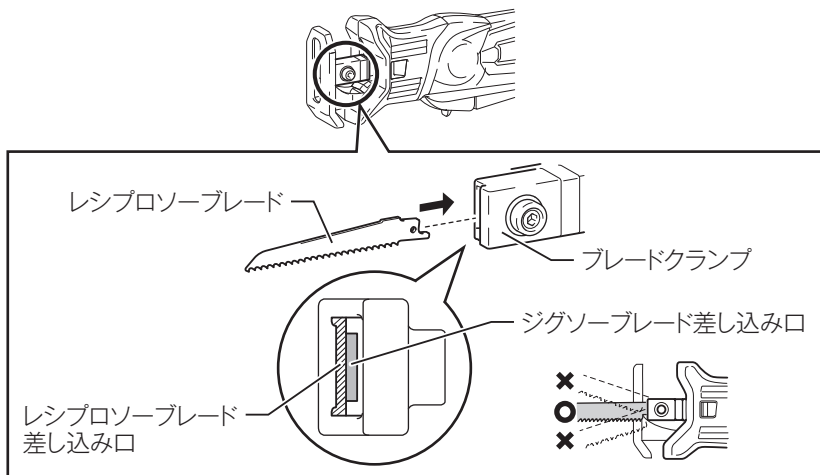
ブレードは確実に取り付けてください。
・ 確実でないと、はずれたり、けがの原因になります。

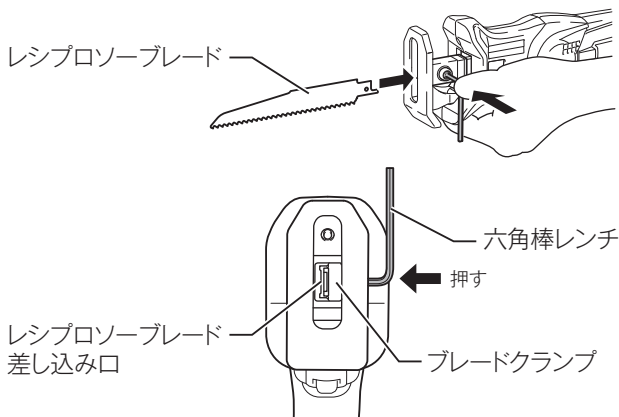
作業直後のブレードは大変熱くなっていますので触れないでください。
・ やけどの原因になります。

ブレードを取りはずす際、ブレードの刃先、切削クズ等に注意してください。
・ けがの原因になります。

ブレードをはずした時または保管する場合は、ブレード締め付けボルトを最後まで締め付けた状態にしてください。
・ ブレード締め付けボルトをゆるめたまま、運転すると故障の原因になります。

取り付け方

・ ブレード締め付けボルトを六角棒レンチで十分ゆるめてください。

・ ブレードをブレードクランプ差し込み口に挿入して、奥まで差し込んでください。

※作業中にブレードが落ちないことを確認するために、軽く引っ張って確認してください。

・ レシプロソーブレードを挿入する場合は、六角棒レンチでブレードクランプを矢印方向へ押してください。

・ ブレード締め付けボルトを六角棒レンチで十分締め付けてください。

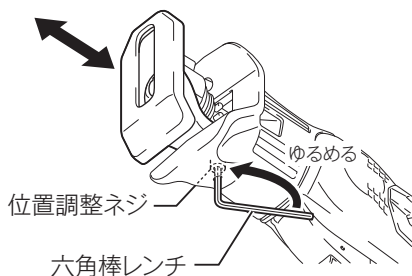
取りはずし方

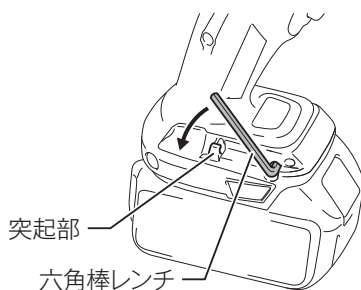
・ 取りはずす場合は、取り付け方の逆の要領で行なってください。

シューの位置調整

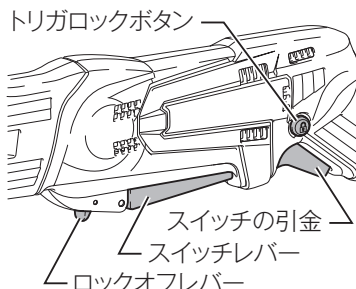
・ 本機下側から図のように六角棒レンチを差し込み、内部の位置調整ネジをゆるめてシューの位置を調整することができます。

※ブレード刃物部の同じ部分の使用により切れ味が悪くなった場合、シューの位置を調整することで未使用の刃物部を利用でき、ブレードの寿命を延ばすことができます。

※調整後は、確実に調整ネジを締め付けてください。

六角棒レンチの収納

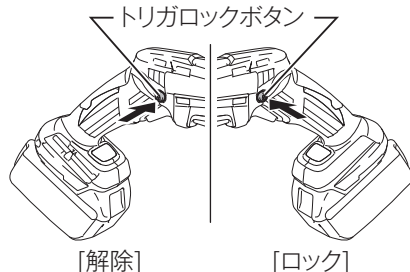
・ 使用後の六角棒レンチは、図の本機収納部に取り付けてください。六角棒レンチは本機の突起部に確実にはめてください。

スイッチの操作

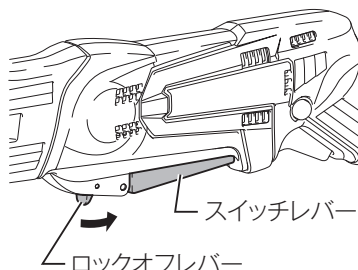
> **⚠ 警告**
>
> **本機にバッテリを差し込む前に、スイッチが切れていることを必ず確認してください。**
> - スイッチを入れたままバッテリを差し込むと急に回りだし、事故の原因になります。

- スイッチはスイッチの引金かスイッチレバーのどちらでもご使用になれます。

スイッチの引金を使用する場合

- トリガロックボタンの解除側を押した状態にします。
- スイッチは引金を引くと入り、離すと切れます。
- スイッチの引金の引き加減により、お望みのストローク数が得られます。
- 使用後は必ずトリガロックボタンのロック側を押した状態にしてください。スイッチの引金が引けない状態になります。

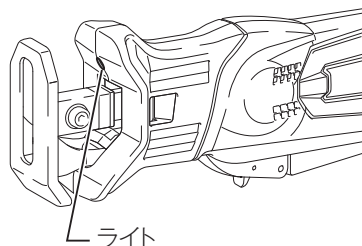
トリガロックボタン

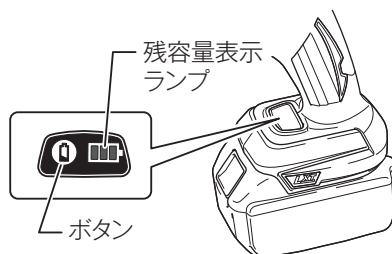
[解除] [ロック]

スイッチレバーを使用する場合

- トリガロックボタンがロック側を押した状態であることを必ず確認してください。
- スイッチはロックオフレバーを矢印方向に引いた状態で、スイッチレバーを引くと入り離すと切れます。
- スイッチレバーの引き加減により、お望みのストローク数が得られます。
- スイッチレバーを離すと自動的にロックオフ機構が働き、スイッチが入らない状態になります。

ライトの点灯

⚠ 注意

ライトの光を直接のぞき込んだり、目に当てないでください。
・ ライトの光が連続して目に当たると目をいためる原因になります。

・ スイッチの引金かスイッチレバーを引くと点灯し、離すと約10秒～15秒で消灯します。

バッテリ残容量表示

・ 本機を停止した状態でスイッチパネルのボタンを押すと、バッテリの残容量をお知らせします。

・ ランプの点灯状態とバッテリ残容量は以下のようになっています。

ランプの状態	バッテリ残容量
■■■	残容量約 50%以上
■■□	残容量約 20%～ 50%
■□□	残容量約 20%未満

・ バッテリの残容量確認は必ず本機を停止させた状態で行ってください。

切断方法

⚠ 注意

シューを材料から離して使用したり、急激にブレードをひねるような切断はしないでください。

・ ブレードが折れたりして、けがの原因になります。

金属を切断するときは熱い切粉が出ますので、必ず手袋を着用してください。

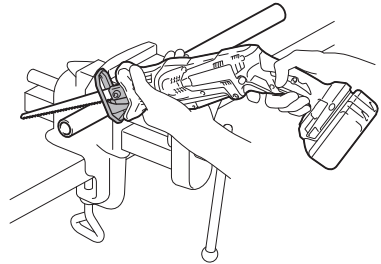
・ やけどの原因になります。

庭木を切断する場合は、枝をしっかり保持した状態でシューを切断部に押し付けてください。また切り落とし材に十分注意してください。

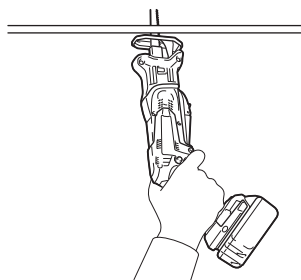
・ けがの原因になります。

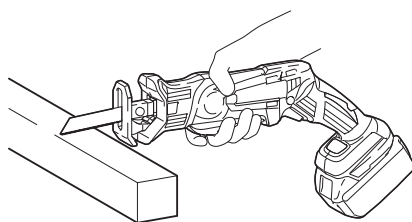
注

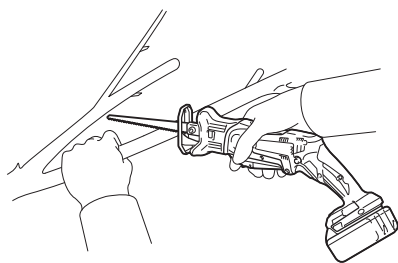
シューを材料から離して使用しますと、反動が大きくなりブレードの破損原因となります。

- 金属を切断する場合は切削油を塗布してください。
- シューを材料にしっかり押し当ててください。
- ブレードを材料に軽く接触させます。
- スイッチの引金を少し引き、低速で切り始めます。
- ブレードが材料に切れ込んだら、スイッチの引き加減を調整して、お望みのスピードで切断します。

作業例

スイッチの引金を使用する場合

・ 高い所で切る時
・ 狭い所で切る時

スイッチレバーを使用する場合

・ 片手で力を入れて切りたい時

庭木を切断する場合

・ 枝をしっかり保持した状態でシューを切断部に押し付けて切断してください。

推奨ブレード：A-53827（別販売品）

・ このブレードは、手ノコのように前後に動かして切断すると効率よく切断できます。
ただし φ 50mm 以下の竹、塩ビ、木材を目安にしてご使用ください。

使い方

1 回の充電での作業量

・ 数値は参考値です。
・ 数値は材質、ブレードの切れ味などにより異なります。
　スイッチの引金を最大に引き込んだ状態での値です。

材料	切断量	
	JR144D（バッテリ BL1430）	JR184D（バッテリ BL1830）
木材（2" × 4"）	約 45 本	約 50 本
鋼管（外径 φ 25.4 mm、厚さ 1.2 mm）	約 125 本	約 170 本
塩ビ管（外径 φ 48 mm、厚さ 4 mm）	約 240 本	約 280 本

注

・ 予備のバッテリを使用して連続作業をされる場合は、本機を 15 分以上休止させてください。

保守・点検について

⚠ 警告

点検・整備の際には必ずスイッチを切り、本機よりバッテリを抜いてください。

・ バッテリを本機に差し込んだまま行うと、事故の原因になります。

本機のお手入れ

・ 乾いた布か石けん水を付けた布できれいに拭いてください。

注

・ **ガソリン、ベンジン、シンナー、アルコールなどは変色、変形、ひび割れの原因となりますので使用しないでください。**

ご修理の際は

・ 修理はご自分でなさらないで、必ずお買い上げの販売店または当社営業所にお申し付けください。